

【部会・分科会活動報告】 2016年9,10月度

| | | |
|--|-----------|---|
| 食 品 安 全 研 究 会 | 食品微生物研究部会 | <p>1. 分科会活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 芽胞菌分科会：10/3 日本缶詰びん詰レトルト食品協会 駒木専務理事と打ち合わせを実施①②。 ① 統一検査方法文書化：缶詰時報投稿用報文のまとめ中 ② 砂糖原料のリスク調査・缶詰時報投稿用報文のまとめ中 ③ 9/5,10/27 千代田工販打ち合わせ ・ MALDI 分科会：NITE との覚書を締結中。 ・ チルド食品勉強会：チルドにおいて危害となる菌の論文の読み合わせを予定（11/8） ・ NGS プロジェクト：ILSI Europe 主催 NGS 会議（9/9 ベルギー）に出席し、10/7 プロジェクトメンバーへの報告会を実施。 <p>2. 次回、部会全体会議・勉強会</p> <p>12月9日(金) 13:00-18:00 和光純薬工業(株)研修所（静岡）</p> <p>1) 部会全体会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各分科会からの活動報告 ・ 2017年度の活動計画策定 ・ その他報告 <p>2) 勉強会 講師：日本缶詰びん詰レトルト食品協会 駒木先生 演題名：容器詰チルド食品と微生物ー安全性とその評価ー</p> |
| | 食品リスク研究部会 | <p>1. 次期活動のための準備 打合せ（10/6）今後の部会活動の柱と寄付講座発展型創設に向けたテーマ提案に関して議論。</p> <p>2. 勉強会準備 福島医科大学 村上道夫先生によるリスク評価、リスクコミュニケーションに関する勉強会の開催決定。</p> <p>3. 次回部会及び勉強会予定 11/14（月）於 ILSI 事務局</p> |
| | 香料研究部会 | |
| バ イ オ テ ク ノ ロ ジ ー 研 究 会 | 研究会全体 | <p>全体会議を9月16日に開催</p> <p>1. ERA プロジェクト調査報告第29号勉強会 (ア) ERA プロジェクト調査報告第28号 (SEP2016) 9月発刊 (イ) ERA プロジェクト調査報告第29号 (OCT2016) 10月発刊</p> <p>2. GM 食品添加物の今後について： (ア) 高度精製食品添加物：高度精製添加物の自主判断基準に関する7月29日の食安委専門調査会の議事録は出たが、親委員会にはまだ報告されていない。 (イ) 高度精製食品の考え方策定：日添協で協議する。 (ウ) 高度精製食品添加物の飼料としての使用：7月13日の食安委で食品として安全性を確認したものを飼料添加物としての使用がなされる場合は食安委への諮問は不要と報告。 (エ) 勉強会：アの自主判断基準が明確になった段階で考える。</p> <p>3. ERA ワークショップのフォローアップ勉強会 (ア) 11月2日はスケジュールが合わない為延期とする。その後11月14日に行うことが決定、現在準備を進めている。約30人規模で開催。5月19、20日のワークショップで宿</p> |

| | | |
|-------------|--|---|
| | | <p>題となった競合における優位性を見るための評価項目の検討を行う。</p> <p>4. NBT ワークショップ (ア) 11 月 15 日に決定したが、その後、最新の知見の発表が 11 月 15 日では間に合わないとの事で、来年 2-3 月に延期することとなった。</p> <p>5. ERA 報告書の今後 (ア) 林先生から 300 報以降も続けても良いとの意向が示されたため、続けていくことで合意。</p> <p>6. 会計報告：現状を把握した。</p> <p>7. 研究会名 (ア) 事務局からサステイナビリティ研究会としてはどうかとの提案があり、検討した結果、サステイナビリティ研究会の名前では活動内容が分かりづらいのでバイオテクノロジー研究会のままで行くことで合意。また、部会は当面なくすことで合意。</p> <p>8. 研究会人事異動 (ア) 現在副会長の味の素の小林氏に代わり、加村氏が副会長に就かれた。</p> <p>9. ILSI-SE Asia 会議報告 (ア) 加村氏より、会議では遺伝子組換え技術は食物のサステイナビリティのために重要であることが議論されており、ILSI が重要視している課題であることが報告された。</p> <p>全体会議の後で勉強会を開催。林先生から ILSI CERA Update のお話があり、ILSI CERA の設立経緯から林先生のご活躍を含め ILSI CERA の現状が報告された。</p> |
| 栄養健康研究会 | 栄養研究部会 | 特になし |
| | GR プロジェクト | <ul style="list-style-type: none"> 第 3 回多施設試験を 10 施設で実施 (8 月～) |
| | 茶類研究部会・茶情報分科会 | <ul style="list-style-type: none"> 茶成分データベース：静岡県立大学で、中国茶試料の測定試料を調製した。カテキン、カフェインを分析中。得られたデータは部会内で共有する。 茶類研究部会新規テーマ：次期テーマを紅茶成分のテアフラビン等有効成分に関して情報収集、勉強会を中心に進めることを決定した。 |
| 食品機能性研究会 | | |
| | 寄付講座 「機能性食品ゲノミクス」 | <ul style="list-style-type: none"> 第 III 期寄付講座 (2013 年 12 月開始、5 年間) 研究進行中。 研究成果シンポジウム：9/14 (於東京大学農学部弥生講堂一条ホール) 「"食と健康" に関わる統合食品科学のニューフロンティア」を統一テーマとし、約 150 名が参加。 |
| C H P | Project PAN (Physical Activity and Nutrition) | <p>◇ テイクテン (TAKE10!®)</p> <p>9/1, 7, 13, 15, 27, 28, 29 すみだテイクテン教室 (みどりコミュニティセンター, すみだ女性センター, スポーツプラザ梅若)</p> <p>9/5-6 震災被災地支援「いしのまきテイクテン」(北上地区仮設にっこりサンパーク団地集会所)</p> <p>10/5, 11, 13, 19, 25, 27 すみだテイクテン教室 (みどりコミュニティセンター, すみだ女性センター, スポーツプラザ梅若)</p> <p>10/17, 19 津和野町シルバー人材センター主催「介護予防リーダー</p> |

| | |
|--|---|
| | <p>養成講座」(島根県津和野町)</p> <p>10/18, 19 津和野町シルバー人材センター10周年記念講演(日原山村開発センター,津和野町町民センター)</p> <p>10/18 「テイクテンきよらプロジェクト」発足会議(参加団体:島根県,山口県4市町村の団体[津和野町/益田市シルバー人材センター,吉賀町/岩国市社会福祉協議会]及びILSI,14名参加,島根県吉賀町)</p> <p>10/25 いきいきランチ教室(八広地域プラザ,墨田区)</p> |
| Project SWAN (Safe Water and Nutrition) | <p>9/1, 5-6, 21-23, 28-30 SWAN3:地域ヘルスワーカー対象の情報提供方法に関する研修(ハナム省・ニンビン省,ベトナム)</p> <p>9/1 カラワン県におけるSWAN実施のための会議(カラワン県行政関係者,インドネシア人専門家,ILSI,23名参加,カラワン県,インドネシア)</p> <p>9/19-29 「ベトナム農村地域における母親の離乳食作り啓発支援事業(以下AIN)」における実施1年後調査(ターイグエン省・バクザン省,ベトナム)</p> <p>10/3-5 SWAN3:地域ヘルスワーカー対象の情報提供方法に関する研修(ハナム省,ベトナム)</p> <p>9-10月 AIN:料理教室15回,栄養カウンセリングや栄養・食品衛生に関する情報提供を継続的に実施(ターイグエン省・バクザン省,ベトナム)</p> |
| Project IDEA (Iron Deficiency Elimination Action) | 特になし |
| CHP 全体 | 特になし |
| 国際協力委員会 | 特になし |
| 情報委員会 | <ol style="list-style-type: none"> 委員会開催2回(9,10月) ホームページ <ul style="list-style-type: none"> ・日常業務としての更新(随時) 「栄養学レビュー」誌 <ul style="list-style-type: none"> ・25巻1号(通巻94号):編集(11/10発刊予定) ・25巻2号(通巻95号):翻訳、監修(来年2/10刊行予定) ・11/25編集委員会開催(通巻96号採択論文、翻訳者候補決定)予定 |
| 編集部会 | <ul style="list-style-type: none"> ・「イルシー」誌127号、発行 ・「イルシー」誌128号、原稿査読・編集 |

【講演会・シンポジウムご案内】

| 講演会名 | 案内 | 担当研究部会 |
|------|----|--------|
| | | |
| | | |

【事務局からのお知らせ】

| | |
|-----|--|
| 理事会 | 第6回理事会が平成28年10月26日(水)17時より開催された。 決議事項 |
|-----|--|

| | |
|-----|--|
| | <p>議案 今年度収支見込一次案、来年度収支予算一次案</p> <p>事務局より説明があり、今年度見込については特に意見はなかった。来年度収支予算については、ILSI JAPAN CHP が若干の損失であり、担当理事より CHP 活動の財務基盤対策が来年度の課題であり、グローバル NPO、WHO、日本政府、グローバルな食品・飲料企業等にサポートを仰ぐ予定であると補足した。収支見込、予算共に全員一致で承認された。</p> <p>報告／決議事項</p> <p>1. 健康な食事研究会（仮）設立に向けて</p> <p>今回は会発足時のシンポジウムでの講演内容とタスクフォースのメンバーに関し、理事長より案が提示された、講演者について厚労省や農研機構、外食・中食・給食企業等からメンバーが数名推挙された。早急にタスクフォースメンバーを招集し、検討を継続する。</p> <p>2. 発展型 ILSI 寄付講座について</p> <p>新講座の位置づけ、関与する大学や学部の選択等、時間をかけて進める意向や、内容はリスクよりも健康機能の追求に決定した経緯の説明が理事長よりあり、臨床系を入れるべき、機能性食品のメーカーが見えると食品業界が注目する、医薬品系食品系企業の有する知見を使い、メタボ、ロコモ、認知症に対してメーカーを探す、等の意見が出された。タスクフォースを組んで進めることで合意した。</p> <p>3. 来年度本部総会の概要</p> <p>今回は「Food Safety」、「Nutrition」の2つのテーマに集中。総会前に活動計画を作成し、支部間で共有。この活動計画を本部総会の一連の会議でブラッシュアップ。特に理事より意見・質問なし。</p> <p>4. ILSI 本部に報告する 2017 年活動報告案</p> <p>栄養：健康な食事研究会 食品安全：食品微生物研究部会 MALDI-TOF/MS 分科会 同上：NGS (New Generation Sequencing) プロジェクト 理事より意見・質問なし。</p> |
| 事務局 | 特になし。 |